

UCD研究会

# 2025年度 UCD研究部会 説明会

2025年3月19日



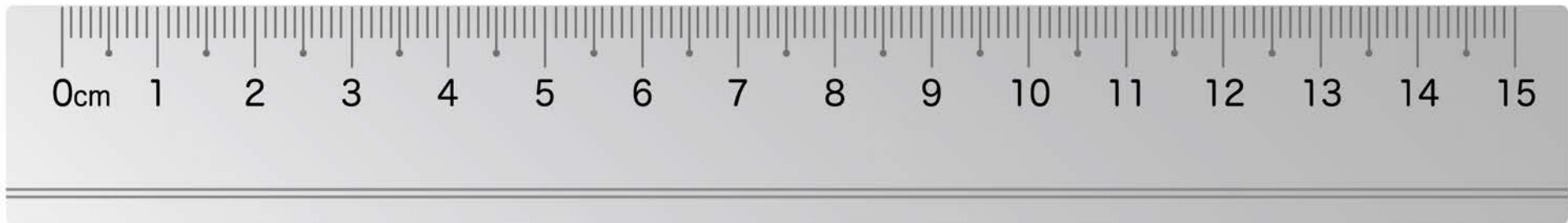
一般社団法人  
ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会

UCDA  
UCD研究部会の概要と  
2025年度の構想

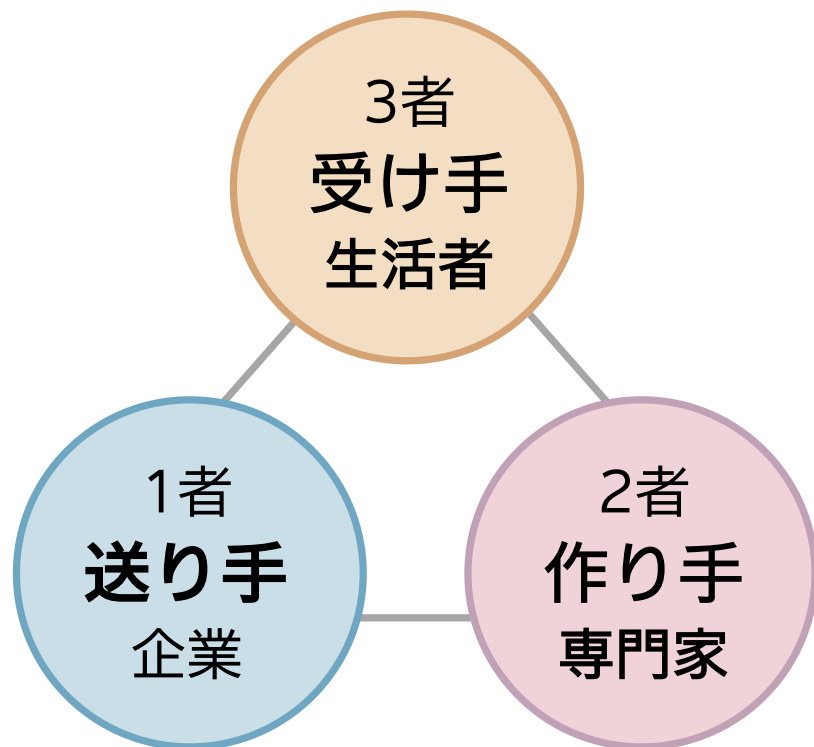


ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（UCDA）は、  
科学的データに基づいて「わかりやすさ」を  
評価・認証する一般社団法人です。

## 情報コミュニケーションに 「わかりやすさ」の基準を作る



「わかりやすさ」とは  
「わかりにくさ」の要因を取り除いた状態



## 客観性

定量化した「基準」で評価

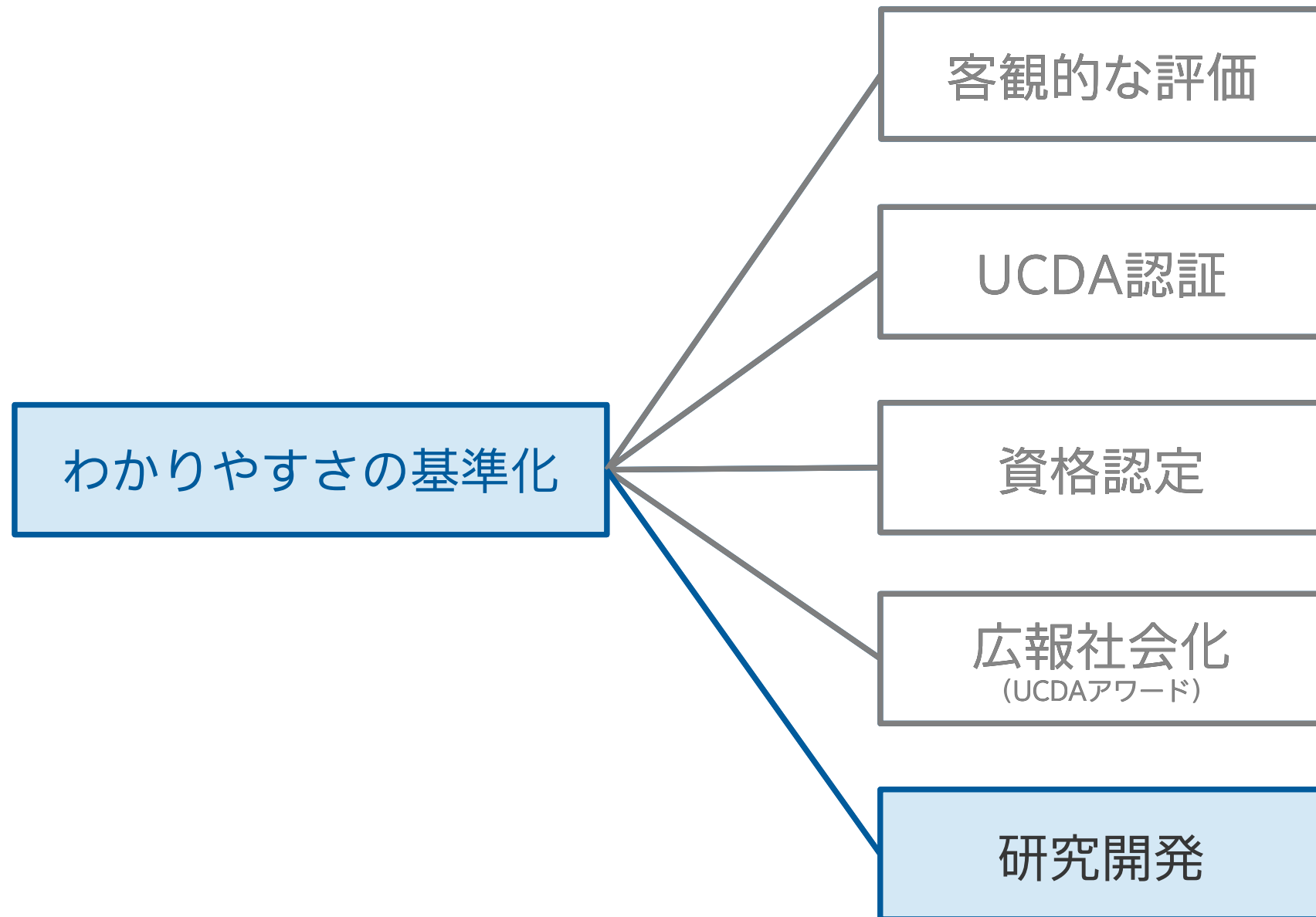
## 重層性

3つの立場による社会的多様性

## 第三者性

特定の利益に偏らない独立した活動

産業・学術・生活者の「集合知」で基準作り



研究開発では、情報コミュニケーションにおける新しい技術や、表出した社会課題の解決に向けて、見やすさ・わかりやすさの研究・開発を継続している

### 今までの実績(一部)

- 視認性の高い書体
- 文字組の視認性
- 情報量の測定方法
- 動画のわかりやすさ
- パッケージ表示のわかりやすさ
- Webのわかりやすさ
- 食物アレルギーピクトグラム

活動実績：<https://ucda.jp/research/works.html>



## UCD研究部会の目的

“わかりにくさ”による社会問題を  
多様な立場から考える

- 産業・学術・生活者が参加
- 議論や実験、研究発表を通じ、「わかりにくさ」の解決手段を見出す
- UCDのソリューションを用いて課題を定量化（見える化）する
- 参加する企業の情報交換を通じて課題を共有し、共同で解決する



## 食品表示 (パッケージ)

- 限られた表示面積の中での「見やすさ」
- 文字組みの視認性
- 食物アレルギーのピクトグラムの開発

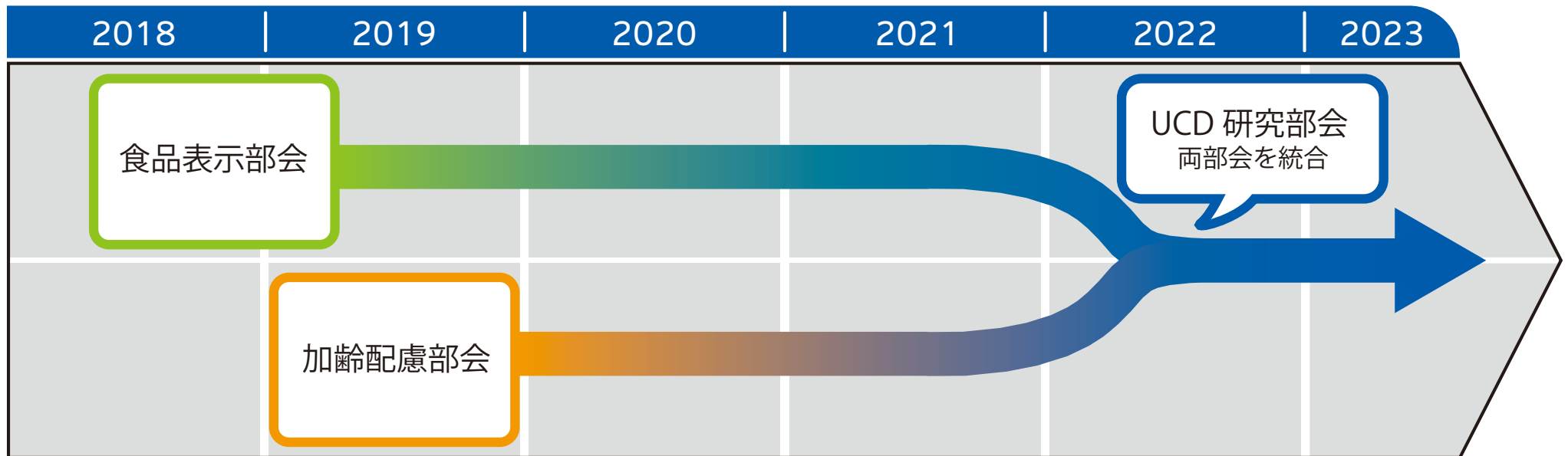
## 加齢配慮

- 加齢に伴う見え方、認知の変化
- 若年者との違い、配慮すべき事柄
- 加齢配慮DC9ヒューリスティック評価法の開発

## コミュニケーション デザイン

- 紙とデジタル、様々な媒体を組み合わせた情報提供
- 各媒体の特徴、メリットを活かした顧客体験
- 「コミュニケーションデザイン」の評価手法の検討

- 当初は「食品表示」と「加齢配慮」の各部会を個別に運営
  - 共通する課題やどちらにも属さない問題が表出
  - 2022年度から「UCD研究部会」に統合



## 主な活動内容

- ① 各種セミナーを通じた **情報提供**
- ② 自社製品の **評価・改善支援**
- ③ 参加企業同士の **情報交換**

## 主な活動内容

- 1 各種セミナーを通じた **情報提供**
- 2 自社製品の **評価・改善支援**
- 3 参加企業同士の **情報交換**

## 1 各種セミナー・講演を通じた 情報提供



年4回の勉強会・対談企画  
UCDA主催のイベント等

### 【講演者】

- 大学研究者
- 消費者団体
- 参加企業
- UCDA など

## 1 各種セミナー・講演を通じた 情報提供

活動報告

### 販促EXPO 2024【春】 (2024年4月17日~19日)



理想科学工業株式会社のブースにてミニセミナーを開催  
様々な業種の方が多数来場

©2024 Universal Communication Design Association. All Rights Reserved.

活動報告

### 出展 第18回 (令和5年度) 食育推進全国大会



- 日程：2023/6/24 (土) ~25 (日)
- 会場：富山産業展示館 (テクノホール)
- 出展：合計176ブース (飲食・販売・展示含む)
- 来場者数：2日間延べ23,300名



展示の様子

©2023 Universal Communication Design Association. All Rights Reserved.

活動報告

### みんなのピクト

#### マカダミアナッツ+はちみつ追加(2024年4月~)



現在、約50社(団体)へ提供  
大手ホテルのビュッフェや  
訪日外国人対応に向けた申請が目立ちます

---

消費者庁の  
啓発動画にも  
採用されました



消費者庁公式youtubeチャンネルより(抜粋) 外食・中食における 食物アレルギーの現状

©2024 Universal Communication Design Association. All Rights Reserved.

デザイン「2040」への協働ACTION

### これまでの取り組みの中での 課題や悩みは？



UCDAによる活動報告・研究発表

## 電通ダイバーシティ・ラボ（DDL） 代表



林 孝裕（はやし たかひろ）

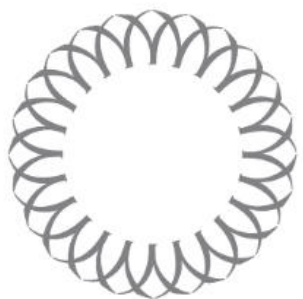
サステナビリティコンサルティング室 シニア・ソリューション・ディレクター

電通ダイバーシティ・ラボ 代表 DEIコンサルタント

ダイバーシティWEBマガジン cococolor発行人・事業部統括

UCDA認定2級プロデューサー

工学修士（建築）、一級建築士



Inclusive  
Marketing

東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程修了。

2003年(株)電通に入社。戦略プランナーとして、コミュニケーション戦略から、事業戦略、事業・商品開発、イベント・スペースプロデュースに至るまで戦略領域全般に従事。

2011年より社内タスクフォースである電通ダイバーシティ・ラボに参画。戦略ユニットリーダーを務め、ダイバーシティテーマのDDL運営WEBマガジンcococolorの創設。現在DDL代表。

2017年8月「インクルーシブ・マーケティング®」をリリース。



## 三林洋介(さんばやし ようすけ)

玉川大学工学部デザインサイエンス学科 教授  
博士(工学)、認定人間工学専門家

専門：視覚情報処理、製品デザイン評価、  
交通および医療安全に関する人間工学研究

### 委員歴：

- 日本交通科学学会理事、副会長(2022年～現在)
- 全国道路標識標示業協会 理事(2018年～現在)
- 全国指定自動車教習所協会連合会 理事(2007年～現在)
- 自動車安全運転センター理事(2002年～現在)
- 日本人間工学会理事 関東支部長(2020年～2024年)
- 臨床生理学会 評議員(2011年～現在)
- PMDA医療機器安全使用対策検討会委員(2019年～現在)
- PMDA医薬品安全使用対策検討会委員(2018年～現在)
- 厚生労働省ミレニアムプロジェクト委員(2000年～2005年)
- 日本工学アカデミー研究委員(2000年～2002年)

### 略歴専任

- 神奈川大学工学部助手 (1994年～2006年)
- 公立大学法人首都大学東京都立産業技術高専 准教授(2022年～2011年)
- 公立大学法人首都大学東京都立産業技術高専 教授 (2011年～2020年)
- 玉川大学工学部 教授 (2020年～至現在)

### 兼任歴(非常勤講師)

- 東京都立科学技術大学、神奈川大学工学部、千葉工業大学社会科学部
- 東京都立高専、東京都立大学法人産業技術高専、他





## ■ 矢口博之（やぐち ひろゆき）

■ 東京電機大学工学部 教授

■ エルゴノミクスデザイン研究室

(URL <https://www.yaglab.ia.dendai.ac.jp>)

- 1996年博士(工学)を取得，人間工学，メディア情報学，社会調査，データ解析等を専門とし，フォントの視認性，カラーユニバーサルデザイン，電子ペーパーデバイスのユーザビリティなどについて研究を行っている
- 日本印刷学会，日本出版学会，ユニバーサルコミュニケーション協会 各理事
- 日本人間工学会，日本画像学会，日本デザイン学会 各会会員
- 認定人間工学専門家，専門社会調査士



## 中本 和宏

千葉工業大学先進工学部

知能メディア工学科准教授

- 富士通（株）等でインタフェースデザイン、UIコンサルタントとして活動。
- 千葉大学大学院自然科学研究科 博士（工学）
- 千葉工業大学工学部デザイン科学科
- 千葉工業大学先進工学部知能メディア工学科（現）
- インターフェイスとインタラクションデザインについて、見やすさ、分かりやすさに重点を置き研究を進めている。

## 主たる課題

### 「多様化する情報コミュニケーションのわかりやすさ」

情報交換  
と  
議論

未来志向の連携

企業・業種の横断したUCD推進

- 1者企業との **課題解決型** 運営

研究開発

ソリューション開発

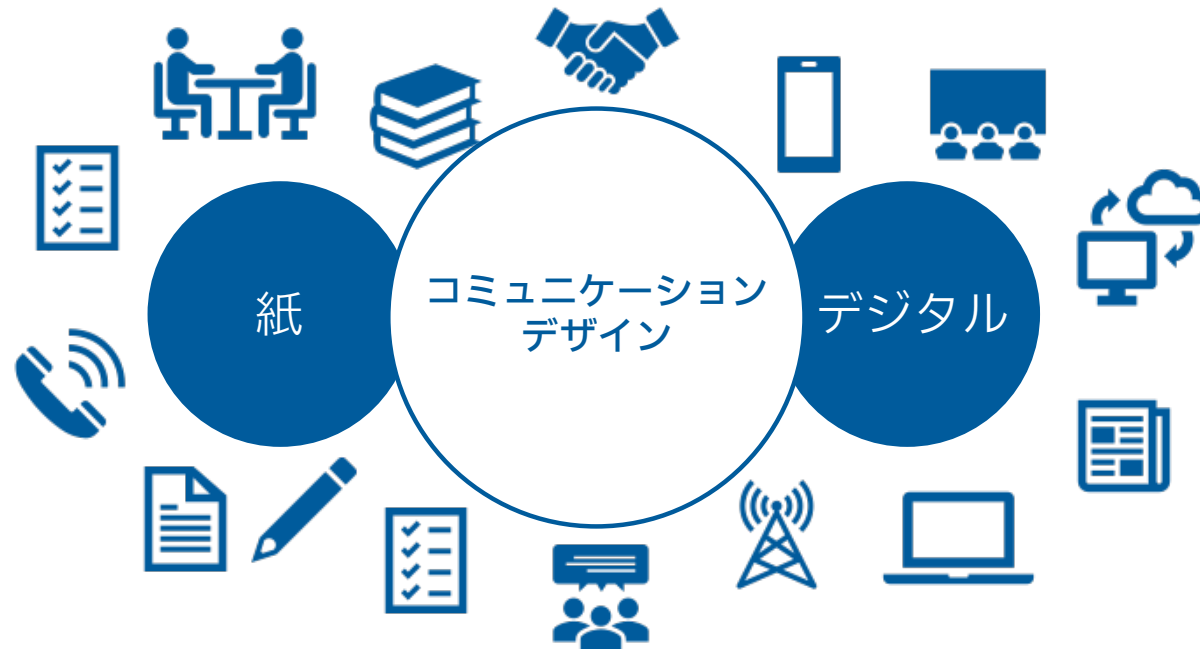
専門家の集合知

- 企業・専門家との **共同研究・開発**
- エビデンスの蓄積

「多様化する情報コミュニケーションのわかりやすさ」



多様な「情報の壁」を取り除くための各専門家の集合知を得る



加齢変化

多言語

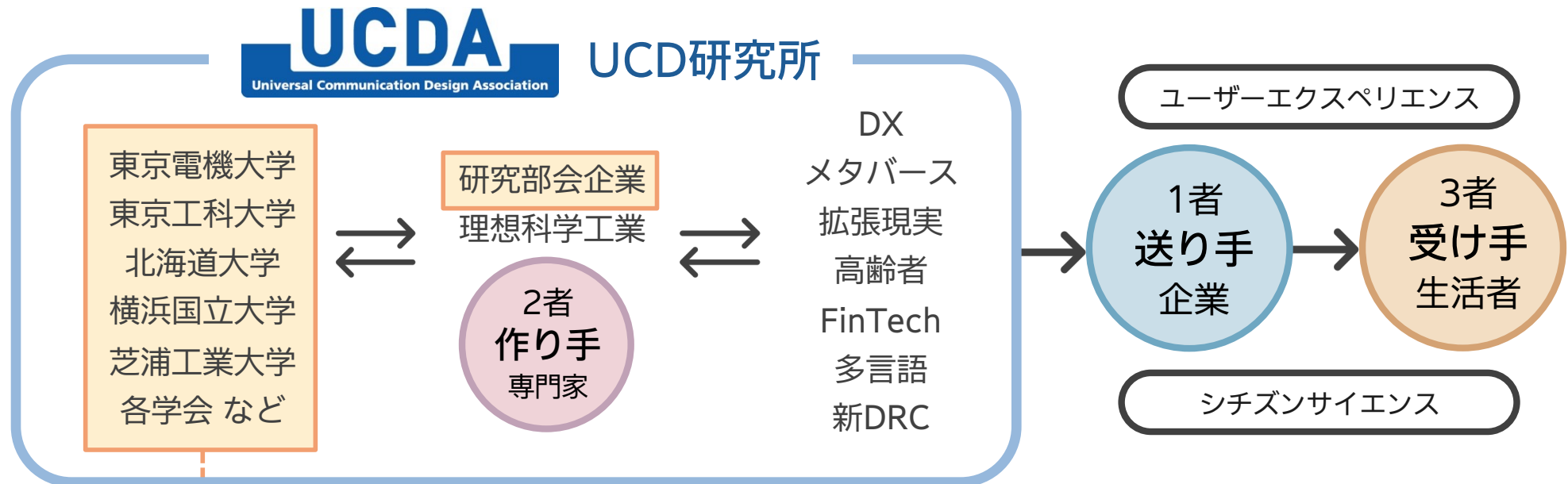
マルチメディア

パッケージ

デジタル

など

「多様化する情報コミュニケーションのわかりやすさ」



東京電機大学 理工学部 矢口 博之 教授を中心に、  
専門家による 課題解決に向けた研究の討論会を構想

## 2022～2023年度にて 専門家による 課題解決に向けた研究の討論会を開催

2022年度  
第4回



2023年度  
第1回



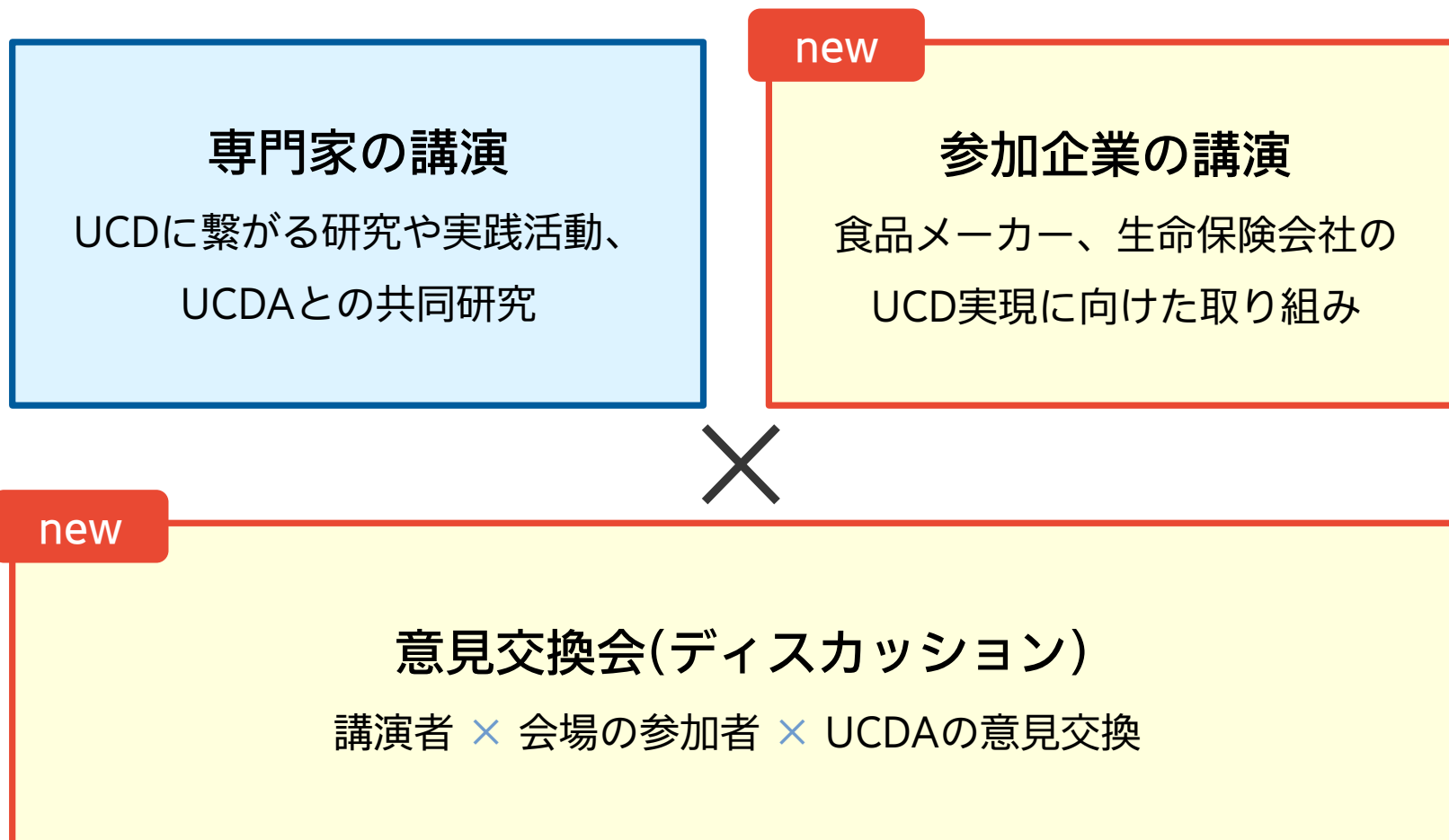
2023年度  
第2回

2023年度  
第3回

2023年度  
第4回

矢口博之教授による対談企画と討論の総括

- 2024年度より参加企業同士の交流機会を拡充
- 2025年度も同体制を継続～発展した展開へ



new

## 参加企業の講演

2024年度は食品メーカー、生命保険会社から4名が登壇

- UCDを知った経緯～社内導入～浸透までの取り組み
- わかりやすさ・見やすさを実現させたプロセスと工夫
- 「お客様の声」をどう商品に反映していくか？
- 既存事例に囚われないチャレンジ的な取り組み事例
- 商品・コンテンツだけではなく、お客様の体験をデザインする姿勢



## 主な活動内容

- 1 各種セミナーを通じた 情報提供
- 2 自社製品の 評価・改善支援**
- 3 参加企業同士の 情報交換

## ② 自社製品の 評価・改善支援

- 「自社製品の帳票・パッケージなどを改善したい」
- 「UCDAと共同で評価・研究を実施したい」

専門家と生活者によるデザイン評価・改善コンサルティング



会員企業の要望・課題に応じて個別にご支援



## DC9ヒューリスティック評価法

### Deep Communication 9

デザインの問題点を専門家が9項目3段階で定量化。  
ヒューリスティック (Heuristic) とは 経験則 のこと。

- |                |  |
|----------------|--|
| ① 情報量          | ユーザビリティ = 使いやすさの<br>国際規格(ISO9241-11)に準拠した評価点 |
| ② タスク          |  |
| ③ テキスト (文意)    | -3 見えない、読めない<br>タスクを達成できない問題                 |
| ④ レイアウト        |  |
| ⑤ タイポグラフィ (文字) | -2 見にくい、読みにくい<br>時間と労力を要する問題                 |
| ⑥ 色彩設計         |  |
| ⑦ マーク・図表       |  |
| ⑧ 記入欄          | -1 致命的な問題ではないが<br>不満が発生する問題a                 |
| ⑨ 使用上の問題       |  |



**A サンプル UCDA**

記入見本 (1) 中借住宅ローン借入申込書 (4)

(2) (3) (5) (6)

©2023 Universal Communication Design Association., All Rights Reserved. 2

**指摘リスト：A サンプル UCDA**

■ 専門家の指摘

部分	DC9項目	指摘	評価点	解説
(1)	A 情報量	文章量（情報量）が多すぎる	-2	ページ左側の情報量が多く、読みにくい。
(2)	A タスク	必要な行動が起こりにくい	-2	同封しなければならぬ書類の案内が小さく、しかも縦書きなので目立っていない。見落とし可能性がある。
(3)	A タスク	必要な行動が起こりにくい	-3	「お問い合わせ先はP7をご覧ください。」とあるが、P7が存在しない。
(4)	A テキスト（文章）	文章の意味がわかりにくい	-1	二重敬語と敬語の誤用が続き、請求内容がややわかりにくい。
(5)	A テキスト（文章）	言葉（専門用語や固有名称など）がわかりにくい	-2	業界用語を略しており、一般の方にタイトルがわかりにくい。
(6)	A レイアウト	行間が適切ではない	-2	「個人情報の取り扱いについて」の文章が、行間が狭く読みにくい。

©2023 Universal Communication Design Association., All Rights Reserved. 3

**総括 サンプル UCDA**

■ 総合評価

問題箇所数	49個
評価点累計	-61点
平均点	-1.24点

■ 総合：問題指摘49箇所、累計-61点、平均-1.24点

- 総合的な問題の重篤度はやや高い。
- DC9別の平均点は「使用上の問題」が-1.75で基準値の-1.50を超えている。「タスク」と「マーク・図表」が-1.50と続く。
- DC9別の問題指摘箇所数で見ると、「レイアウト」が最も多く、次に「マーク・図表」が多い。

↓

■ 改善指標

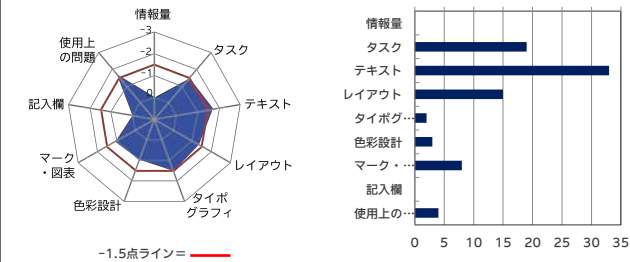
- 表組みの色彩設計を見直し、文字の可読性に配慮する
- 文字サイズにメリハリをつけ、情報の階層やチャンク（情報のまとまり）を明確化する。

問題の平均点 (DC9別)

問題の指摘箇所数 (DC9別)

©2023 Universal Communication Design Association., All Rights Reserved. 12

## 評価レポートのイメージ





## 顧客要求分析 Customer Demand Research

生活者が「実際にどう使っているのか」を知り、  
無意識のストレスや言語化できない要求を分析する。



生活者の行動

専門家によるモニタリング

インタビューでの掘り下げ





## 視線追尾分析 Eye Tracking Analyst

生活者の視線の動きを専用の機械で計測し、  
「長く見た箇所」や「見た順序」など視線の傾向を分析する。



アイトラッカー(測定機)

### タレント・モデル契約のトラブルに注意！！

10代・20代の女性を中心に、  
タレント・モデル契約関連の様々なトラブルが発生しています。

**CASE1**  
インターネットで見つけた芸能事務所のオーディションに合格し、事務所と契約したところ、芸能スクールに通うための高額な入学金や月謝を要求された！

**CASE2**  
事務所のホームページにあった、手や足の撮影モデルで高収入が得られる」との募集を見て応募したら、アダルトDVDへの出演を勧められた！

街中のスカウトに加え、スマートフォンで検索して見つけたオーディション、SNSに書き込まれたタレント募集の広告に申し込むなど、自ら連絡を取ったことをきっかけとして、トラブルに遭うケースがあります。

**注意1** その場での契約は避けましょう

**注意2** 活動内容・費用を確認し、家族に相談するなどして冷静に判断しましょう

困ったら、一人で悩まずに  
タレント・モデル契約関連のトラブルに関するご相談  
消費者ホットライン「188」番  
アダルトビデオなどへの出演の強要に関するご相談  
警察相談専用電話「#9110」番  
女性の人権ホットライン「0570-070-810」

消費者庁 独立行政法人 国民生活センター  
平成29年4月27日公開

ヒートマップ  
「長く見た箇所」を可視化

### タレント・モデル契約のトラブルに注意！！

10代・20代の女性を中心に、  
タレント・モデル契約関連の様々なトラブルが発生しています。

**CASE1**  
インターネットで見つけた芸能事務所のオーディションに合格し、事務所と契約したところ、芸能スクールに通うための高額な入学金や月謝を要求された！

**1**  
事務所のホームページにあった、モデル、手や足の撮影モデルで高収入が得られる」との募集を見て応募したら、アダルトDVDへの出演を勧められた！

街中のスカウトに加え、スマートフォンで検索して見つけたオーディション、SNSに書き込まれたタレント募集の広告に申し込むなど、自ら連絡を取ったことをきっかけとして、トラブルに遭うケースがあります。

**注意1** その場での契約は避けましょう

**注意2** 活動内容・費用を確認し、家族に相談するなどして冷静に判断しましょう

困ったら、一人で悩まずに  
タレント・モデル契約関連のトラブルに関するご相談  
消費者ホットライン「188」番  
アダルトビデオなどへの出演の強要に関するご相談  
警察相談専用電話「#9110」番  
女性の人権ホットライン「0570-070-810」

消費者庁 独立行政法人 国民生活センター  
平成29年4月27日公開

ゲイズプロット  
「見た順序」を可視化

## 2 自社製品の 評価・改善支援 過去の実績(一部抜粋)

- 調味料ボトル表示：DC9ヒューリスティック評価
- 生保商品パンフレット：加齢配慮DC9ヒューリスティック評価
- 生命保険 解説動画：映像DC9ヒューリスティック評価
- 食品の包装表示文言：文書添削
- PB商品(菓子類)の裏面表示：UDフォントの活用（みんなの文字）

## ② 自社製品の 評価・改善支援

好事例として社会還元し、企業の取組とUCDを広める

- UCD研究部会やUCD主催セミナーでのご登壇
- 外部イベントでのデザイン・事例展示
- 各学会（人間工学会、印刷学会、デザイン学会 等）の投稿と報告

参加企業とのUCD推進事例（社会実装）を広く伝える



## 出展

食育推進全国大会  
食物アレルギー研究会  
UCDAアワード各種イベント

## 研究発表

日本人間工学会 全国大会  
日本人間工学会 関東支部大会  
日本印刷学会  
人間中心設計推進機構(HCD-net) 研究発表会  
食物アレルギー研究会

## 寄稿 ・ 登壇

一般財団法人食品産業センター「明日の食品産業」  
株式会社技術情報協会『ヒトの感性に寄り添った製品開発とその計測 評価技術』  
一般社団法人全国清涼飲料連合会「ソフト・ドリンク技術資料」  
内閣府 消費者委員会 食品表示部会：食品表示の「見やすさ、わかりやすさ」



直近のイベント出展の様子  
(食物アレルギー研究会)

活動実績 | 研究開発(<https://ucda.jp/research/works.html>)

## 主な活動内容

- ① 各種セミナーを通じた 情報提供
- ② 自社製品の 評価・改善支援
- ③ 参加企業同士の 情報交換

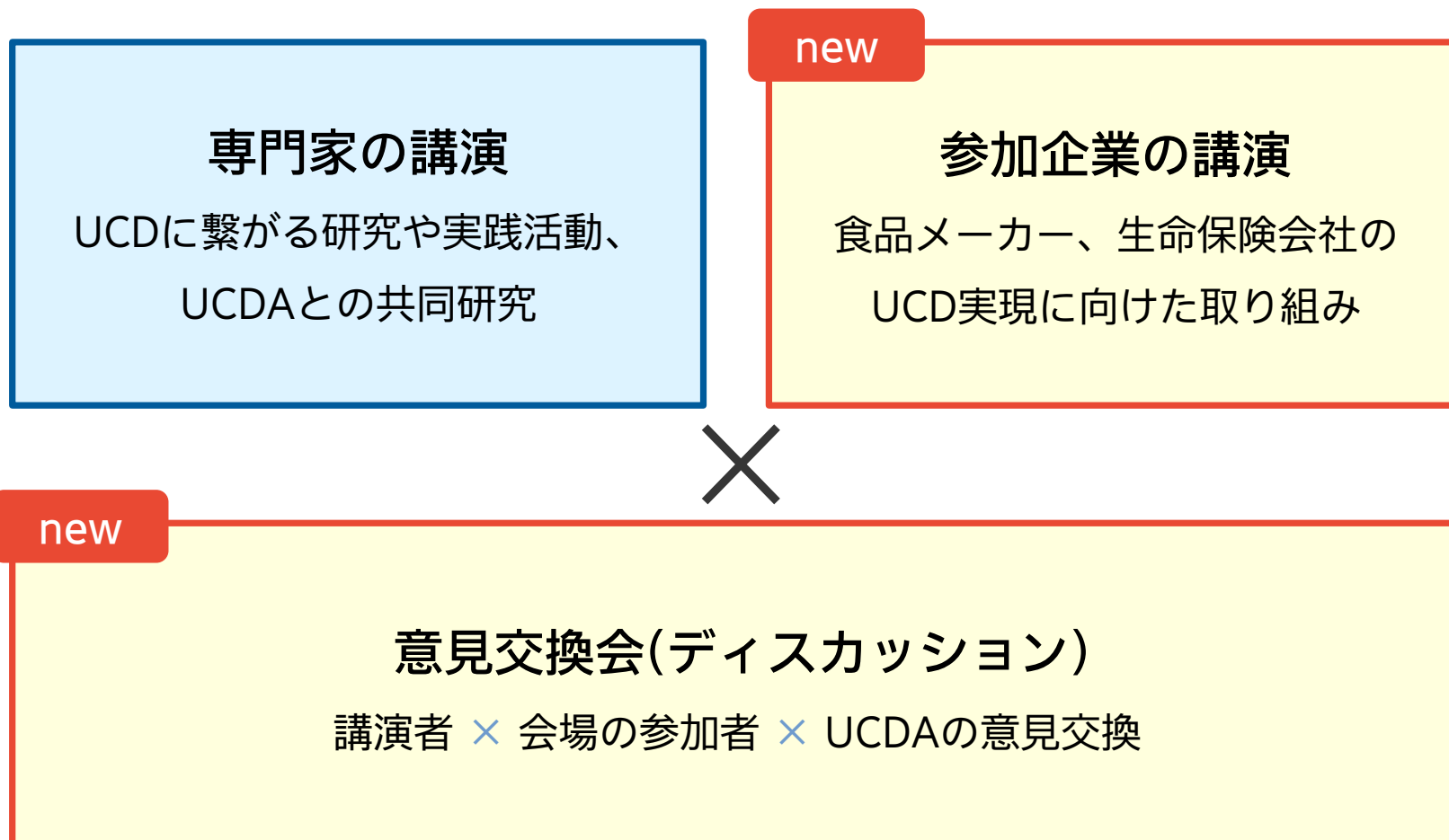
## 3 参加企業同士の 情報交換



業界を越えて取り組みや悩みを共有

より気楽に情報交換できるよう、  
集合型、ハイブリッド型開催へ移行を目指します。

- 2024年度より参加企業同士の交流機会を拡充
- 2025年度も同体制を継続～発展した展開へ



## 3 参加企業同士の 情報交換

業界を越えて取り組みや悩みを共有



- UCDの取り組みを社内にも広めるには…?
- Webや動画を用いた情報提供の工夫
- ユーザーの多様性にどこまで、どう配慮する？
- 注意喚起の表現やマークなど、  
企業・業界を越えて共通化ができないか？

## その他の活動実績

# その他の活動実績(一部紹介)



えび



かに



くるみ



小麦



そば



卵



乳



落花生



アーモンド



あわび



いか



いくら



オレンジ



カシューナッツ



キウイフルーツ



牛肉



ごま



さけ



さば



大豆



鶏肉



バナナ



豚肉



マカダミアナッツ



もも



やまいも



りんご



ゼラチン



アルコール



ハチミツ

等

2023年4月メーカー向けに無償提供を開始



## ソリューションの先行提供

新たに開発されたソリューションを先行して提供



高齢者自身の視点で評価  
加齢配慮DC9ヒューリスティック評価



非対面コミュニケーションを評価  
Web DC9ヒューリスティック評価



PLM (プラム) Package Legibility Auto Meter  
レイアウトの見やすさを判定するアルゴリズム



UCD研究部会  
2025年度 実施計画

## 共通課題の解決に向けた分科会の開催を検討中

- 注意喚起マークの業界を超えた共通化
- UCDを取り入れた「ダークパターン」対応の検討

会員の共通認識(わかりやすさ、UCD、デジタル対応、高齢者への配慮…)と、  
専門領域(保険、金融、食品、医薬品、工学、デザイン…)両方を活かした討論  
研究部会(クローズ)とオープン型の両面で検討中

## 持ち込みの商品や資料を用いたワークショップ

参加メンバーが評価員となり、実際に評価をする  
異なる業界の参加メンバーにユーザーとして触ってもらう 等



## UCD研究部会

- 会員特典と会費
- 申込手続き

## 会費と会員特典

### ■ 年会費 100,000円 (税込)

保険・金融、食品・医薬品メーカーなど

「情報の送り手企業」限定(1社3名まで参加可能※)

※メンバー登録は5名まで可能で、入替えも受け付けます。都度ご連絡ください。

### ■ 参加企業の特典

- ・ 評価のソリューション・サービス 20%割引
- ・ 出張セミナー 20%割引 (基本セミナー)
- ・ 参加企業専用サイトへのアクセス権(過去回の配布資料など)
- ・ UCDA主催イベント(一部)への招待

## 参加手続き

### 1. 申込書の入手

UCDA事務局([jimukyoku@ucda.jp](mailto:jimukyoku@ucda.jp))までご連絡ください。  
2024年度の会員企業・説明会参加者には登録アドレスへ送付します。

### 2. 申込書に必要事項を入力し、UCDAへ送付

ご参加のメンバーやご連絡先を登録します。  
申込書はメール、郵送、FAXにて受け付けます。(申込書に送付先記載)

### 3. 会費のお支払い

申込者宛に会費の請求書をお送りします。

**【申込締切】2025年4月30日(水)**

参加メンバーを確定させるため4月末で1度目の締切を設定しています。  
年度を通して参加企業を募集しておりますので、お気軽にご連絡ください。

## 2025年度 第1回 UCD研究部会 5月以降 開催予定

## 2025年度 UCD研究部会に ぜひご参加ください

ご質問、お問い合わせは

UCDA事務局まで

[jimukyoku@ucda.jp](mailto:jimukyoku@ucda.jp)